



市議会ホームページ



市議会 Facebook



市議会 YouTube

現場に学ぶ よりよい市政を目指して

市議会では常任委員会を設置し、一年を通じて所管別に議案審査や事業調査を行っています。今号では、常任委員会の活動の一部を紹介します。



総務企画委員会

総務企画委員会では、DXについて調査するため、スマートシティの推進を重点プロジェクトに掲げる山口県山口市を視察し、デジタル技術の活用や情報格差の解消について調査しました。

また、消防団の充実強化を目的に、同市において、団員の活動継続支援や専用アプリの導入などについて伺いました。

教育民生委員会

教育民生委員会では、本市の不登校対策の実情を把握するため、教育支援センター「さくら教室」を訪問し、教育センター長や相談員に話を伺いました。

また、なり手不足が懸念される民生委員を補助する「民生委員協力員」について調査するため、先進地である伊勢市を視察しました。



産業建設委員会

産業建設委員会では、集落営農を通じた農地の維持などに取り組む広島県東広島市を視察し、集落単位だけでなく小規模組合も支援の対象とする取組について伺いました。

また、都市機能の集約と活性化に取り組む広島県竹原市において、官民連携によるウォークブルなまちづくりなどについて調査しました。

※ウォークブルなまちづくり…歩きたくなる、居心地のいい空間を創出するまちづくりの考え方や取組





Q 赤字見込の計画はでたらめ
収入に合わせて支出を組むことは財政運営の原則であり、自治体は赤字にならないように計画を作るべきである。計画段階から赤字を見込み、災害の発生や社会情勢の急変など、非常時に必要となる財政調整基金を取り崩す前提の計画は「でたらめ」だと考える。

A 単年度収支の均衡を目指す
以前から本市の財政基盤は脆弱であり、その中でも一定の市民サービスを維持するための予算を組んでいる。しかしながら、基金を取り崩さなくとも単年度の収支を合わせることが財政の健全化であることに違いはない。



Q ふるさと納税20億円プラン
戦略の策定や専門部署の設置、庁内を横断するプロジェクトチームの設立など、ふるさと納税寄附額を20億円に拡大するプランを提案する。

A 戦略的に寄附を拡大させる
当面は寄附額10億円を目標とするが、その先も見据えて戦略的に取り組む必要がある。返礼品については、寄附実績を可視化して分析し、戦略的に充実させなければならない。また、プロジェクトチームを組織し、集中的に戦略を練ることや、専属で動ける人員を配置することも必要だと考えており、今後、外部人材の活用についても検討したい。



Q ふるさと納税で空き家対策
空き家の管理サービスをふるさと納税の返礼品とした本市の取組が、テレビでも紹介された。この取組をはじめとする本市の空き家対策について問う。

A 地域の住環境保全に寄与
空き家の敷地内における草木の繁茂が、近隣に住む住民の生活環境に悪影響を及ぼしている。ふるさと納税による空き家の管理サービスは、地域の住環境の保全に寄与するものと考えており、今後も地域からの声や課題に対して、10月に指定した空き家等管理支援法人や地域づくり組織と連携しながら対策に取り組む。



Q ごみ焼却炉の改修について
ごみ焼却炉の改修計画について、もっと経費を削減できるのではないか。水の流入により、炉を傷めているのであれば、熔融炉外側の水冷ジャケットを外してはどうか。空気循環で炉を冷やせば、故障のリスクも下がる。この方法なら炉の改修費とその後の修理費も抑えられる。

A 経費の削減に努める
精査を重ね、一定の金額を示したが、改修の手法はまだ決定していない。提案された内容は水漏れが発生せず、機器類も簡略化できる可能性があるため、メーカーとの協議や研究を重ね、経費の削減に努める。



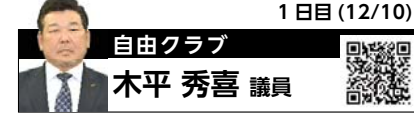
Q スペシャリスト職員制度を
財政危機による暗いイメージを払拭し、危機脱出に導くキーパーソンが本市には必要である。熱い思いを持ち、仕事にやりがいと幸せを感じる人が市民をハッピーにする。そのため、得意とする創造的業務を行うスペシャリスト職員の任命制度を提案する。

A やりがいのある職場環境に
職員一人一人が元気に、アイデアを豊かにして業務を行うことが、市民サービスの向上に加え、人材の確保や定着につながると考えている。今回の提案も参考に、職員のやる気ややりがいにつながる職場環境づくりをさらに進めたい。



Q 機能分担などで医療連携を
伊賀地域に住む人たちの命を守るため、公立病院である名張市立病院と上野総合市民病院は、機能分担などによってさらに連携を深めていく必要があると考えるが、本市の考えを問う。

A 連携協定に基づき推進
伊賀地域の医療体制を充実させるために連携協定を締結している。令和7年1月からは常勤医師を週に1回派遣し合い、互いの医療資源や専門性を生かした診療を行うなど、両病院や住民にとってメリットのある相互診療として取り組んでいる。令和8年度は研修医の育成においても連携する予定である。



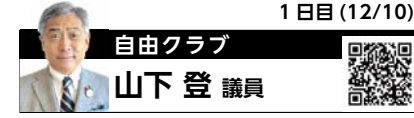
Q 万博による観光への効果は
大阪・関西万博が4月から10月まで開催され、来場客数は約2,500万人とされている。市長は観光を「政策の一丁目一番地」としており、万博は誘客の絶好のチャンスであった。期間中における赤目滝の入込客数など、万博に関する本市の取組の成果について問う。

A 名張の魅力を広く PR
期間中の赤目滝への入込客数数は、昨年と比較すると減少したが、外国人観光客は1,282人増加した。万博会場では、名張市のワークショップに3,000人以上の来場があるなど、本市の魅力を広くPRする機会になったと評価している。



Q 稼ぐまち名張を目指して
本市と同様に財政状況が悪かった茨城県境町は地域商社^{※2}を設立し、ふるさと納税の返礼品開発に力を入れたことで、年間50～100億円の寄附を集めている。過度な支出の抑制により、市民サービスの低下を招かぬよう、境町を参考に稼げるまちを目指してほしい。

A 先進事例を参考に
全国的に売れるものをピックアップして地元で作り出すという境町の発想は参考にしたい。ただし、ふるさと納税を安定した財源とみなすことはできないため、施設の改修や投資的経費に充当していきたい。



Q 人口減少対策を問う
高齢化が進む中、人口減少は本市の将来を左右する重大な課題である。現状に対する本市の認識とその対策を問う。

A 特別委員会に期待
ここ数年、約1,000人が亡くなれるのに対し、出生数は300人程度と、自然減が大きい状況にある。また、転出による社会減には、それぞれの要因に多面的に対応する必要がある。現在、商工会議所を中心に、大学や市なども参画する特別委員会が立ち上がっている。人口減少対策は市民総出で進めていくべきことだと考え、この委員会にも期待させていただく。



Q 分娩施設の確保を
令和7年の出生数や出産した場所について問う。市外の分娩施設や津市の周産期母子医療センターなど、遠方まで行くことは妊婦や家族の負担が大きい。市立病院内に助産院を開設するなど、市内で分娩施設を確保すべきだ。

A 市内での開設を目指す
11月までの出生数は292人で、分娩は伊賀地域の医療機関が63%、三重大と三重中央医療センターが15%である。助産院は医療機関との連携が重要で、仮に市立病院に設置するならば産科を優先すべきであり、これに限らず、市内での分娩施設の確保に取り組む。

一般質問の動画を配信中！
YouTubeで、一般質問の動画を配信中。各議員名の右の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると視聴できます。



ぜひ、チャンネル登録を！
名張市議会 YouTube チャンネルでは、全ての本会議の様子を配信しており、過去の定例会も視聴できます。



Q 市民生活を守る事業選択を
成果連動型民間委託契約^{※1}(PFS)導入の検討を契機に、民間委託を含む既存事業を全て見直し、財政難を理由に市民サービスを縮小・削減する改革ではなく、市民の声と成果を軸にした事業の選択と集中を行い、市民生活を守るべきだ。

A 理解を得ながら共に進める
PFSは有効な手法と認識している。目標や成果指標の設定には知見の蓄積が不可欠であるため、職員の意識向上とスキルアップを図る。行財政改革については、市の考えを明確に示し、市民の理解を得ながら、共に進めていける体制づくりに努める。

※1 / 成果連動型民間委託契約(PFS) … 民間事業者が業務委託する際、事前に設定した「成果指標」の達成度に応じて、支払い額が変動する契約方式
※2 / 地域商社… 地域資源を発掘・ブランド化し、販路開拓・販売促進を行う事業体

12月23日 市に意見書・要望書を提出しました



財政健全化に向けた新たな財源確保に関する意見書を提出

超過課税の実施検討、法定外税の新設に向けた研究、防災庁の地方拠点の誘致など、財政健全化に向けた新たな財源確保の取組の着実な実施を求め、市長に対し意見書を提出しました。



意見書 (HP)



ハラスメントの撲滅に向けた取組の推進についての要望書を提出

「ハラスメント撲滅宣言」の発出や職員研修の充実、相談体制の整備、市民への啓発活動の推進など、ハラスメント防止に向けた市の率先した取組を求め、市長に対し要望書を提出しました。



要望書 (HP)

3月定例議会日程 (予定)

2月26日 議案上程	10日 当初予算質疑
3月 4日 一般質問	11日 予算特別委員会
5日 一般質問	12日 総務企画委員会
6日 一般質問	13日 教育民生委員会
9日 補正予算・決算 (病院事業会計)	16日 産業建設委員会
	19日 採決
	31日 閉会

開議時間は午前10時からです。全ての本会議（委員会を除く）がケーブルテレビで中継されます。なお、YouTubeでは上記の会議全てを配信する予定であり、過去の会議も視聴することができます。

【次回の議場コンサート】 申込不要

日本民謡和泉会 (津軽三味線曲弾き)

日時 3月4日 9:10～9:40

場所 議会棟3階 傍聴席



今号から、市内中学生の皆さんがイラストを描いてくれます！

将来を担う若者にも議会に関心を持ってもらうため、今号から市内中学生の皆さんに「市議会だより」のイラストを作成していただくことになりました。次回もお楽しみに！

生徒さんの声

今回、議会だよりのイラストを任せていただき大変嬉しく思います！今回のイラストは美術部のみんなで頑張ってきました。少しでも皆さんの目に留まると嬉しいです！
名張中学校 美術部



今号は名張中学校美術部の皆さんが担当してくれました！

令和7年度 一般会計補正予算

一般会計で歳入歳出それぞれ6億6,102万9千円を追加し、予算総額は、326億8,995万円となりました。人件費や扶助費に係る増額のほか、国津の杜管理費（くにつふるさと館の空調整備）、子ども若者第三の居場所創造事業（備品購入費の増額）、子育て施設利用助成事業（利用料補助の追加）、子育て世帯に対する物価高対応子育て応援手当及び支給事業に要する経費が主な内容となっています。各議員の質疑を経て、全会一致で可決となりました。

職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定

人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準拠し、民間給与との較差に基づく給与改定のほか、給与水準の適正化及び行財政改革プランの集中取組期間における緊急危機回避の取組として、給与の減額措置を行うため改正を行うもので、賛成多数で可決されました。

議決結果

○ 賛成
× 反対
欠 欠席

無会派			喜働			自由クラブ			清風クラブ				公明党		
藤川	三原	永岡	足立	幸松	川合	木平	山下	柏	小林	坂本	常俊	福田	阪本	細矢	吉住
○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○

※富田議長は採決に加わりません。

その他の議決結果はホームページに掲載しています。また、議決結果は名張市公式LINEでもお知らせします。ぜひ友だち登録し、受信設定から「議会」の情報を受信するよう設定してください。議決結果のほか、会議予定や一般質問の通告一覧などを発信する予定です。



議決結果 (HP)



市公式 LINE



採決日 動画 (YouTube)

一般質問で取り上げたテーマをお知らせ！

今回の定例議会では、行財政について注目が集まりました。厳しい財政状況を克服していくため、財源の確保、歳出抑制の取組を積極的に推進していくと答弁がありました。



一般質問の一覧はこちら

